



税金は暮らしと営業にまわせ!

3月13日、「重税反対全国統一行動」が取り組まれ、日立民商や農民連が日立駅前で開催。税務署までデモ行進をして集団で確定申告をおこないました。これに参加した北茨城市のIさん(写真左下)は、手作りでサンドイッチマンの扮装を仕立て、怒りのスローガンを掲げて銀座通りなどを練り歩きました。

怒りのサンドイッチマン



「うば捨て山」よりひどい 後期高齢者医療制度

第1回定例 3月議会 鈴木やす子議員の一般質問から

3月10日、市議会の一般質問がおこなわれました。日本共産党の鈴木やす子議員は、高齢者医療制度の問題点のほか、学校給食、地産地消、男女共同参画、校舎等の耐震調査などを取り上げました。一端を紹介します。

中止・撤回を求める

「鈴木康子議員」後期高齢者医療制度は、06年に小泉内閣と自民・公明政権が強行しました。お年寄りを勝手に前期・後期と分け、家族の扶養となつている方も含め75歳以上の全員を国保や社保から切り離し、別の

保険制度に困り込むものです。保険料は年金から天引き、受けられる医療内容にも差別がもたせられます。高齢者を年齢で切り離すというのは、国民皆保険を実施している国では世界でも初めてであり、厚生省の元役人ですら「うば捨て山だ」と発言したほどです。

わが党の小池参議院議員は国会で「うば捨て山はお金をとらないけれど、これはお金を取る分もつと悪い」と強調しました。医療の現場で、多くの医師からも批判の声があがっています。私は、なにより制度そのものの中止・撤回を求めるものです。現在、国会では、野党4党がこの制度の中止・撤回法案を提出しています。また全国500を越える自治体から中止・撤回または見直しを求める意見書が提出されています。

昨夏の選挙敗北を受けて、与党も補正予算を出しましたが、わずか保険料全体の3%にすぎません。強行した側が、始める前から凍結・延期をいうのは、みずから制度の不備や矛盾を露呈しているようなものです。

市長も個人的には反対

きわめて問題の多い医療制度ですが、執行責任は都道府県ごとの広域連合にあずけられ、市町村にかかる課題もあります。まず、資格証明書発行について質問いたします。

これまでの国保制度のなかでは、障がい者、被爆者、お年寄りには発行されずにきたものです。ところが今度は、一年間滞納したら保険証は出さず、資格証明書を発行するとしています。資格証明書では、病院にかかったとき窓口支払いは10割です。もともと保険料も納められないお年寄りが、いざ具合が悪くなつたからといってそんなお金が払えますか。座して死ねといわんばかりです。本市での運



満席の会場(天心美術館ロビー、3月1日)

北茨城から新しい童謡

「わたしのつくる子ども」のうた」発表コンサートが開かれ、会場いっぱい参加者が新しい童謡の誕生に立ち会いました。

今年開催される国民文化祭のプレ企画として、北茨城市では昨年、子どもの歌



大塚利恵さん

を募集し、全国から千名を超える応募がありました。最優秀賞の詞に、審査をした大塚利恵さんが曲をつけ、今回ご本人のコンサートで発表されました。

子どものリズムカルな詩にみずみずしい曲がついて、「合唱曲として聴くのがまた楽しみです」との声が聞かれました。

用についてお聞きします。「豊田市長」個人的にはこの制度に反対だが、市民にご理解をいただけるよう働きかけていきたい。基準は、これから検討する。
紙面のつごうにより、この項目のつづきと他の質問内容については、インターネット上左記に掲載します。
<http://ktib.geo.jp/yasuko>

北茨城民報
日本共産党 北茨城市委員会 福加町登田1900-2
毎週 日曜日発行
インターネットでもご覧いただけます
<http://ktib.geo.jp/jcp>
ご相談は お気軽に
市議会議員 福田 明 43-0468
市議会議員 鈴木やす子 42-2462